

◆各会社のアウトカム指標（令和2年度実績値・令和3年度目標値）

柱	No	指標分類	備考
I-1. 安全・安心の確保（交通安全対策）			
【死傷事故をへらす】			
	1	死傷事故率	算出中※
	2	ガソリンスタンドの空白区間	
【人の立入をへらす】			
	3	人等の立入事案件数	
【逆走事故をなくす】			
	4	逆走事故件数	
	5	逆走事案件数	
I-2. 安全・安心の確保（構造物保全）			
【構造物を安全に安心して使い続ける】			
	6	修繕着手済橋梁数	算出中※
	7	橋梁の点検率	算出中※
	8	修繕着手済トンネル数	算出中※
	9	トンネルの点検率	算出中※
	10	修繕着手済道路附属物等数	算出中※
	11	道路附属物等の点検率	算出中※
【構造物に悪影響を及ぼす違反をなくす】			
	12	(車限令)取締実施回数	
	13	(車限令)引込み台数	
	14	(車限令)措置命令件数	
	15	(車限令)即時告発件数	
【地震に強い道路をつくる】			
	16	橋梁の耐震補強完了率	算出中※
II. 快適な走行サービスの提供			
【渋滞をへらす】			
	17	渋滞損失時間	
	18	ピンポイント渋滞対策実施箇所	
	19	通行止時間（事故・工事・災害に伴う交通規制時間）	
【路上工事の渋滞を最小化する】			
	20	路上工事による渋滞損失時間	
	21	交通規制時間（路上工事に伴う交通規制時間）	
【走りやすい道路を維持する】			
	22	快適走行路面率	
III. 地域との連携			
【観光振興に貢献する】			
	23	(企画割引)販売件数	
	24	(企画割引)実施件数	
【地域に施設を開放する】			
	25	SA・PAの地元利用日数	
	26	一般道からSA等への歩行者出入り口設置数	
【道路空間を地域に開放する】			
	27	占用件数	
	28	道路占用による収入	
【資産を有効活用する】			
	29	入札占用件数	
IV. コスト縮減			
【新技術の活用などによるコスト縮減を続ける】			
	30	インセンティブ助成認定件数	
	31	インセンティブ助成交付件数	
	32	インセンティブ助成交付額	
V. 総合的な取組の推進			
【サービスの向上に努める】			
	33	総合顧客満足度	
【利用者を増やす】			
	34	年間利用台数	
【ETC2.0の普及を促進する】			
	35	ETC2.0利用率	

※指標「死傷事故率」と「各構造物の修繕着手済数」の令和2年度実績値及び令和3年度目標値については、データ取得等の制約により「算出中」としているが、今後順次公表予定

※太字は、機構と高速道路会社の共通目標「(I)安全・安心の確保、(II)快適なサービスの提供」の下に定めた主要な指標分類

◆アウトカム指標— 令和2年度実績値・令和3年度目標値の概況

(令和2年度実績値)

新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の影響により、年間利用台数が減少傾向であったことに付随して渋滞損失時間が大幅に減少するなどの状況が見られています。快適走行路面率は、路面に発生したわだちやひび割れなどに対する補修を適時・適切に行った結果、昨年度に引き続き高い水準を維持しました。

(令和3年度目標値)

新型コロナウイルス感染症の影響の先行きが不透明であることから、各指標の目標値は一定の想定(例えば、利用台数は緩やかに回復していくことを想定するなど)のもと、設定しております。そのため、感染状況の変化に伴う交通状況の変化などの影響を大きく受ける可能性があります。

目的	－ 死傷事故をへらす －			
本指標が達成すべき具体目標	死傷事故率を断続的に減少させる。	各指標の定義	■死傷事故率(単位:件/億台キロ)	
			自動車走行車両1億台キロあたりの死傷事故件数 ^{※2}	
			■ガソリンスタンドの空白区間(単位:区間)	
		隣接するガソリンスタンド間が150km若しくは100kmを超える区間数(それぞれの下段の()内はうち会社を跨ぐ空白区間数) ^{※3※4}		

①会社別の指標値

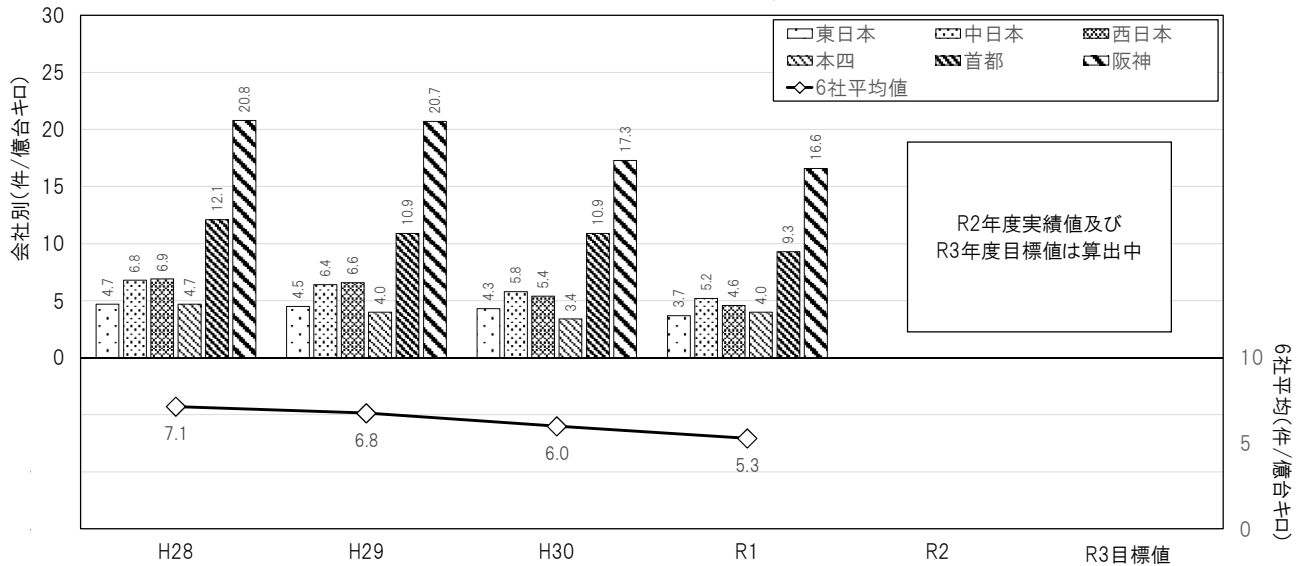
	令和元年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	令和3年度目標	中期目標 ^{※1} 令和3年度
高速東 道路本 線	■死傷事故率(単位:件/億台キロ)				
	3.7 件/億台キロ	3.7 件/億台キロ	算出中 ^{※5} 件/億台キロ	算出中 ^{※5} 件/億台キロ	4.5 件/億台キロ
	■ガソリンスタンドの空白区間(150km超区間)(単位:区間)				
	0 区間 (0 区間)		0 区間 (0 区間)		
	■ガソリンスタンドの空白区間(100km超区間)(単位:区間)				
18 区間 ^{※6} (0 区間)		18 区間 (0 区間)			
高速中 道路本 線	■死傷事故率(単位:件/億台キロ)				
	5.2 件/億台キロ	5.0 件/億台キロ	算出中 ^{※5} 件/億台キロ	算出中 ^{※5} 件/億台キロ	4.7 件/億台キロ
	■ガソリンスタンドの空白区間(150km超区間)(単位:区間)				
	0 区間 (0 区間)		0 区間 (0 区間)		
	■ガソリンスタンドの空白区間(100km超区間)(単位:区間)				
4 区間 (0 区間)		4 区間 (0 区間)			
高速西 道路本 線	■死傷事故率(単位:件/億台キロ)				
	4.6 件/億台キロ	4.6 件/億台キロ	算出中 ^{※5} 件/億台キロ	算出中 ^{※5} 件/億台キロ	6.8 件/億台キロ
	■ガソリンスタンドの空白区間(150km超区間)(単位:区間)				
	0 区間 (0 区間)		0 区間 (0 区間)		
	■ガソリンスタンドの空白区間(100km超区間)(単位:区間)				
16 区間 ^{※6} (12 区間)		16 区間 (12 区間)			
本州四 国連 絡 高速道 路本 線	■死傷事故率(単位:件/億台キロ)				
	4.0 件/億台キロ	3.4 件/億台キロ	算出中 ^{※5} 件/億台キロ	算出中 ^{※5} 件/億台キロ	5.2 件/億台キロ
	■ガソリンスタンドの空白区間(150km超区間)(単位:区間)				
	0 区間 (0 区間)		0 区間 (0 区間)		
	■ガソリンスタンドの空白区間(100km超区間)(単位:区間)				
12 区間 (12 区間)		12 区間 (12 区間)			

	令和元年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	令和3年度目標	中期目標 ^{※1} 令和3年度
高速道路 首都	■死傷事故率(単位:件/億台キロ)				
	9.3 件/億台キロ	10.5 件/億台キロ	算出中 ^{※5} 件/億台キロ	算出中 ^{※5} 件/億台キロ	10.0 件/億台キロ
	■ガソリンスタンドの空白区間(150km超区間)(単位:区間)				
	— 区間 (— 区間)		— 区間 (— 区間)		
	■ガソリンスタンドの空白区間(100km超区間)(単位:区間)				
	— 区間 (— 区間)		— 区間 (— 区間)		
高速道路 阪神	■死傷事故率(単位:件/億台キロ)				
	16.6 件/億台キロ	16.0 件/億台キロ	算出中 ^{※5} 件/億台キロ	算出中 ^{※5} 件/億台キロ	15.0 件/億台キロ
	■ガソリンスタンドの空白区間(150km超区間)(単位:区間)				
	— 区間 (— 区間)		— 区間 (— 区間)		
	■ガソリンスタンドの空白区間(100km超区間)(単位:区間)				
	— 区間 (— 区間)		— 区間 (— 区間)		

②死傷事故率の6社平均値の過去5年推移^{※7}

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
6社 平均値	7.1 件/億台キロ	6.8 件/億台キロ	6.0 件/億台キロ	5.3 件/億台キロ	算出中 ^{※5} 件/億台キロ

死傷事故率の経年推移



^{※1} 中期的なサービス水準を示すため、会社の現行中期経営計画期間内の取組計画をもとに、令和3年度までの傾向(トレンド)により算出した参考値であり、新たに会社の中期経営計画を策定する際などに見直す場合がある。
^{※2} 数値は、1/1~12/31間の年間値。
^{※3} 区間数は、方向(上下線別)にそれぞれ算出。
^{※4} 西日本高速道路株式会社と本四高速道路株式間に跨る区間は100km超で12箇所存在する。
^{※5} 令和2年度実績値及び令和3年度目標値については、データ取得等の制約により「算出中」としているが、今後順次公表予定
^{※6} 精査の結果、過年度実績値に誤りが見られたため訂正。
^{※7} %などの比率で目標設定している一部の指標分類については、当該年度の年度目標値の6社合計値等の掲載は割愛します。

目的	一人の立入をへらす		
本指標が達成すべき具体目標	人等の立入事案を断続的に減少させる。	各指標の定義	■人等の立入事案件数(単位:件) 歩行者、自転車、原動機付自転車等が高速道路に立入り、保護した事案の件数

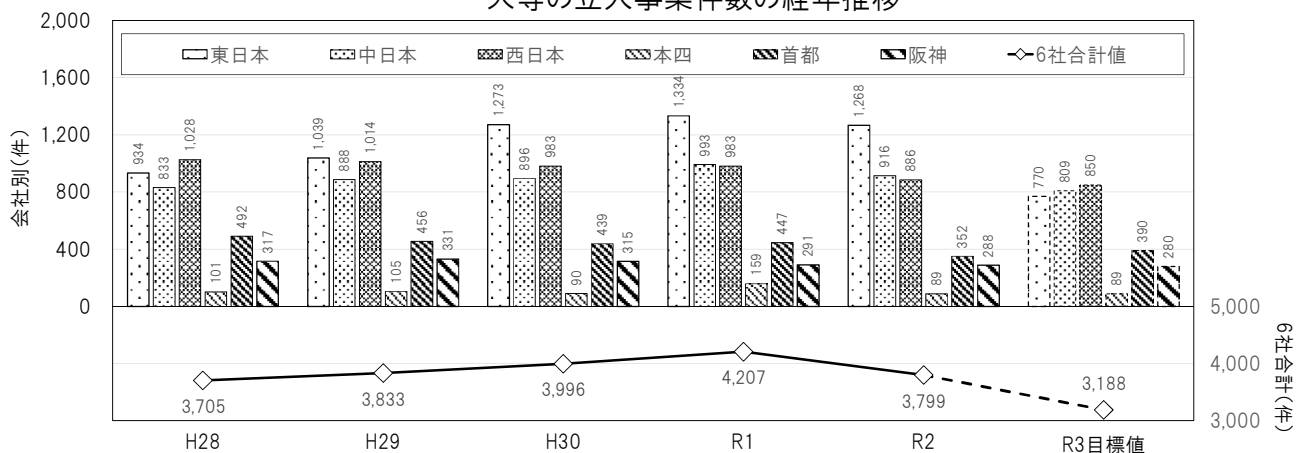
①会社別の指標値

	■人等の立入事案件数(単位:件)				
	令和元年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	令和3年度目標	中期目標※1 令和3年度
高速道路 東日本	1,334 件	1,300 件	1,268 件	770 件	770 件
高速道路 中日本	993 件	862 件	916 件	809 件	809 件
高速道路 西日本	983 件	700 件	886 件	850 件	660 件
高速道路 本州四国	159 件	90 件	89 件	89 件	97 件
高速道路 首都圏	447 件	395 件	352 件	390 件	380 件
高速道路 阪神	291 件	300 件	288 件	280 件	300 件

②6社合計値の過去5年推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(目標)
6社合計値	3,705 件	3,833 件	3,996 件	4,207 件	3,799 件	3,188 件

人等の立入事案件数の経年推移



※1 中期的なサービス水準を示すため、会社の現行中期経営計画期間内の取組計画をもとに、令和3年度までの傾向(トレンド)により算出した参考値であり、新たに会社の中期経営計画を策定する際などに見直す場合がある。

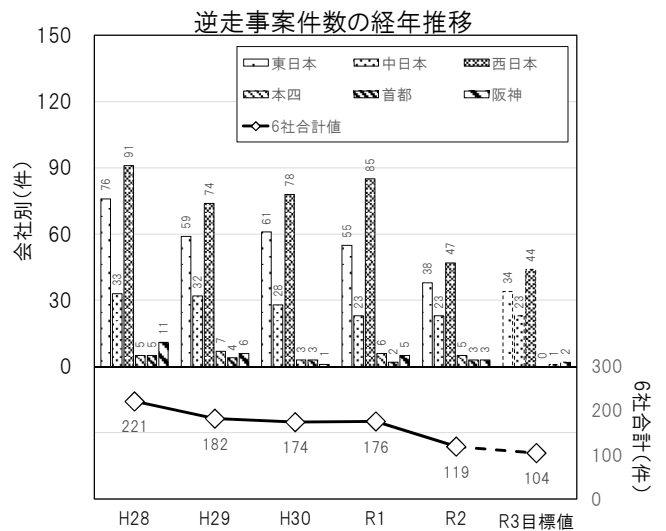
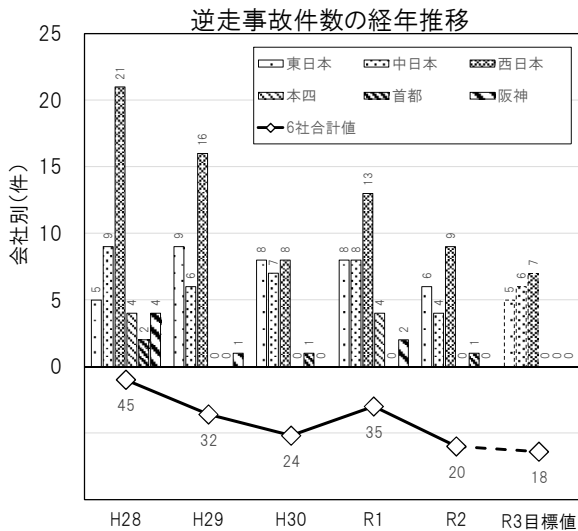
目的	- 逆走事故をなくす -		
本指標が達成すべき具体目標	逆走事故を断続的に減少させ、0件を目指す。	各指標の定義	■逆走事故件数(単位:件) 逆走による年間事故発生件数※2 ■逆走事案件数(単位:件) 交通事故または車両確保に至った逆走事案の年間件数※2

①会社別の指標値

	令和元年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	令和3年度目標	中期目標※1 令和3年度
高速東道路本線	■逆走事故件数(単位:件)	0件	6件	5件	6件
	8件				
■逆走事案件数(単位:件)	55件	44件	38件	34件	50件
高速中道路本線	■逆走事故件数(単位:件)	0件	4件	6件	6件
	8件				
■逆走事案件数(単位:件)	23件	20件	23件	23件	17件
高速西道路本線	■逆走事故件数(単位:件)	0件	9件	7件	7件
	13件				
■逆走事案件数(単位:件)	85件	60件	47件	44件	55件
高速本州四国連絡道路本線	■逆走事故件数(単位:件)	0件	0件	0件	0件
	4件				
■逆走事案件数(単位:件)	6件	1件	5件	0件	0件
高速首都道路本線	■逆走事故件数(単位:件)	0件	1件	0件	0件
	0件				
■逆走事案件数(単位:件)	2件	1件	3件	1件	1件
高速阪神道路本線	■逆走事故件数(単位:件)	0件	0件	0件	0件
	2件				
■逆走事案件数(単位:件)	5件	2件	3件	2件	2件

②6社合計値の過去5年推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(目標)	
6社合計値	■逆走事故件数(単位:件)	45件	32件	24件	35件	20件	18件
	■逆走事案件数(単位:件)	221件	182件	174件	176件	119件	104件



※1 中期的なサービス水準を示すため、会社の現行中期経営計画期間内の取組計画をもとに、令和3年度までの傾向(トレンド)により算出した参考値であり、新たに会社の中期経営計画を策定する際などに見直す場合がある。
 ※2 数値は、1/1~12/31間の年間値。

目 的	－ 構造物に悪影響を及ぼす違反をなくす －		
本指標が達成すべき具体目標	車限令違反車両を断続的に減少させる。	各指標の定義	■車限令取締実施回数(単位:回) 車限令違反車両取締を実施した回数 ■引込み台数(単位:台) 引込みを行った台数 ■措置命令件数(単位:台) 措置命令を行った台数 ■即時告発件数(単位:台) 即時告発を行った台数

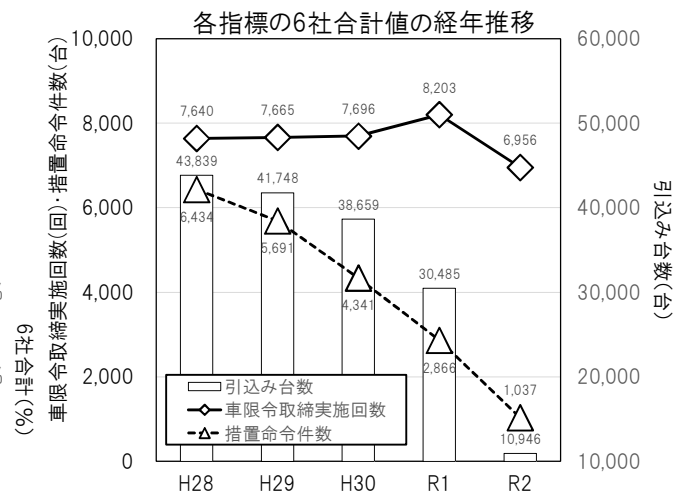
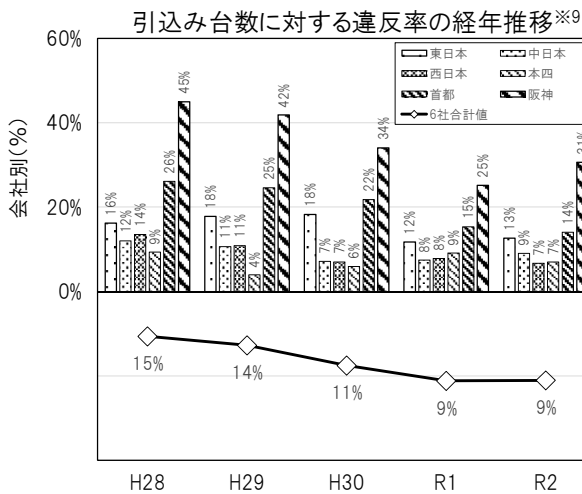
①会社別の指標値

	令和元年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	令和3年度目標	(参考) 平成30~令和3年度の 平均値	中期目標 ^{※1※3} 平成30~令和3年度の 平均値
東日本 高速道路(株)	■車限令取締実施回数(単位:回)					
	1,503 回	1,100 回	1,380 回	1,400 回	1,477 回	1,530 回
	■引込み台数(単位:台)					
	7,410 台		2,147 台			
	■措置命令件数(単位:台)					
	868 台		271 台			
■即時告発件数(単位:台)						
3 台		0 台				
中日本 高速道路(株)	■車限令取締実施回数(単位:回)					
	1,179 回	987 回	819 回	819 回	962 回	1,015 回
	■引込み台数(単位:台)					
	13,971 台		4,450 台			
	■措置命令件数(単位:台)					
	1,049 台		402 台			
■即時告発件数(単位:台)						
1 台		1 台				
西日本 高速道路(株)	■車限令取締実施回数(単位:回)					
	1,351 回	1,200 回	1,395 回	1,400 回	1,340 回	1,740 回
	■引込み台数(単位:台)					
	6,249 台		3,343 台			
	■措置命令件数(単位:台)					
	492 台		225 台			
■即時告発件数(単位:台)						
1 台		0 台				
本州四国 高速道路(株) 連絡	■車限令取締実施回数(単位:回)					
	159 回	113 回	116 回	150 回	148 回	150 回
	■引込み台数(単位:台)					
	818 台		387 台			
	■措置命令件数(単位:台)					
	75 台		27 台			
■即時告発件数(単位:台)						
0 台		0 台				

	令和元年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	令和3年度目標	(参考) 平成30~令和3年度の 平均値	中期目標 ^{※1※8} 平成30~令和3年度の 平均値
首都 高速 道路 路 線	■車限令取締実施回数(単位:回)					
	1,333 回	1,000 回	1,099 回	1,000 回	1,103 回	900 回
	■引込み台数(単位:台)					
	1,330 台		469 台			
	■措置命令件数(単位:台)					
	204 台		66 台			
■即時告発件数(単位:台)						
1 台		0 台				
阪神 高速 道路 路 線	■車限令取締実施回数(単位:回)					
	2,678 回	2,200 回	2,147 回	2,200 回	2,427 回	2,800 回
	■引込み台数(単位:台)					
	707 台		150 台			
	■措置命令件数(単位:台)					
	178 台		46 台			
■即時告発件数(単位:台)						
0 台		0 台				

②6社合計値の過去5年推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(目標)
6社 合計 値	■車限令取締実施回数(単位:回)					
	7,640 回	7,665 回	7,696 回	8,203 回	6,956 回	6,969 回
	■引込み台数(単位:台)					
	43,839 台	41,748 台	38,659 台	30,485 台	10,946 台	
	■措置命令件数(単位:台)					
	6,434 台	5,691 台	4,341 台	2,866 台	1,037 台	
■即時告発件数(単位:台)						
16 台	5 台	10 台	6 台	1 台		



※1 中期的なサービス水準を示すため、会社の現行中期経営計画期間内の取組計画をもとに、令和3年度までの傾向(トレンド)により算出した参考値であり、新たに会社の中期経営計画を策定する際などに見直す場合がある。

※8 車限令取締違反における令和3年度目標及び中期目標は、取締実施回数について設定している。

※9 各社、効率的な取締のために実践している様々な工夫(取締エリアや時間帯の厳選など)の違いや取締可能なエリアの制約状況の差などによる要因を理由に差が生じている。

目的	— 渋滞をへらす —			
本指標が達成すべき具体目標	渋滞損失時間を断続的にへらす。	各指標の定義	■渋滞損失時間(単位:万台・時)	■渋滞損失時間(単位:万台・時)
			渋滞が発生することによる利用者の年間損失時間 ^{※10}	渋滞が発生することによる利用者の年間損失時間 ^{※10}
			■ピンポイント渋滞対策実施箇所(単位:箇所)	■ピンポイント渋滞対策実施箇所(単位:箇所)
			1段目は新規着手箇所数 ^{※11} 、2段目の()内は対策実施箇所数、3段目の<>内は完了箇所数(平成27年度以降の累計値)	1段目は新規着手箇所数 ^{※11} 、2段目の()内は対策実施箇所数、3段目の<>内は完了箇所数(平成27年度以降の累計値)
			■通行止め時間(単位:時間)	■通行止め時間(単位:時間)
			1段目は災害・悪天候、2段目は事故・その他、3段目は工事に伴う単位営業延長(上下線別)あたり平均通行止め時間 ^{※12}	1段目は災害・悪天候、2段目は事故・その他、3段目は工事に伴う単位営業延長(上下線別)あたり平均通行止め時間 ^{※12}

①会社別の指標値

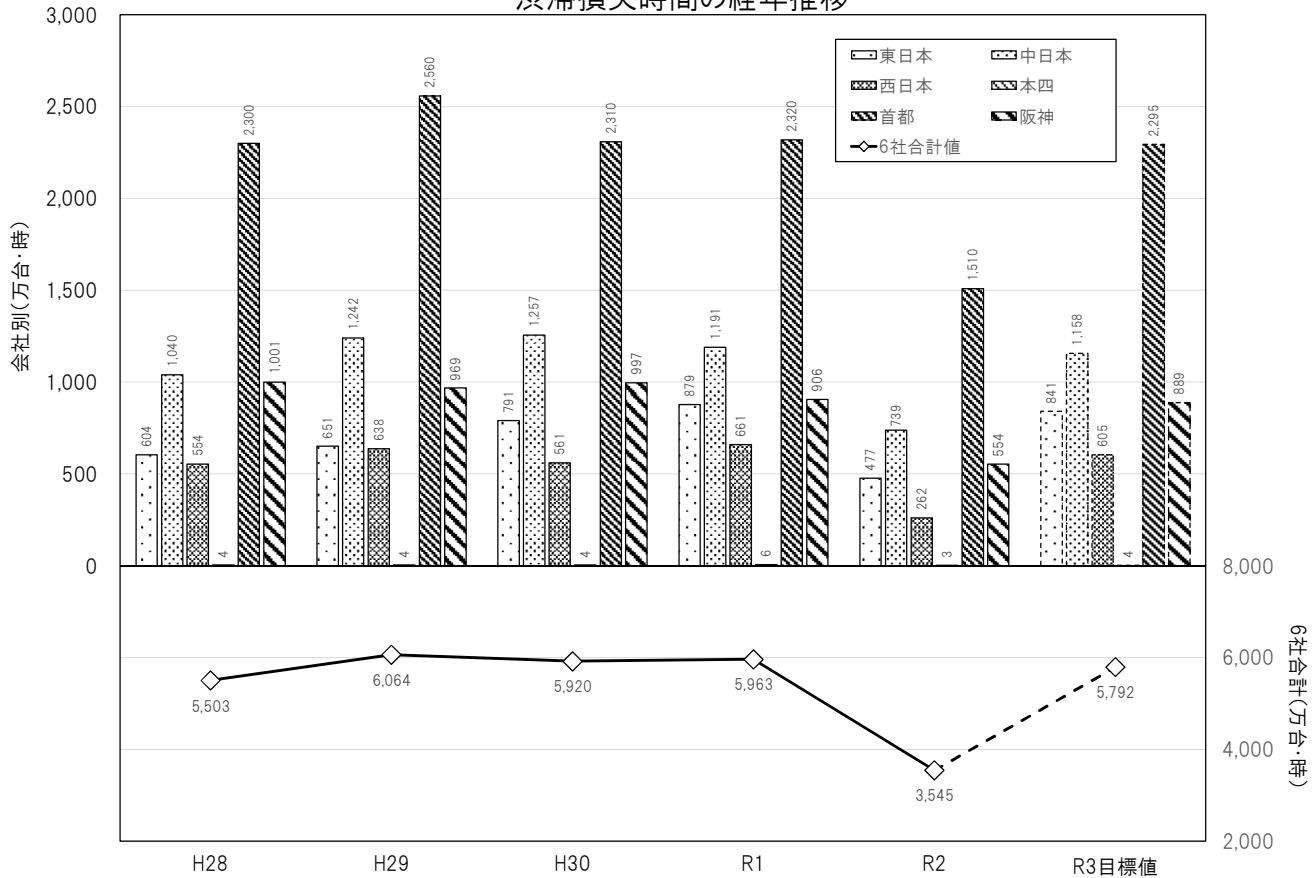
	令和元年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	令和3年度目標	(参考) 平成30~令和3年度の 平均値	中期目標 ^{※1} 令和3年度
高速東道路本線	■渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	879 万台・時	668 万台・時	477 万台・時	841 万台・時		555 万台・時
	■ピンポイント渋滞対策実施箇所(単位:箇所)					
	0 箇所	1 箇所	0 箇所	2 箇所		3 箇所
	4 箇所	平成30~令和2年度の 累積目標	4 箇所	平成30~令和3年度の 累積目標		平成30~令和3年度の 累積目標
	3 箇所		4 箇所			
	■通行止め時間(単位:時間)					
災害 15 時間	計 47 時間	災害 20 時間	計 55 時間	計 57 時間	計 48 時間	
悪天候		悪天候				
事故 5 時間		事故 6 時間				
その他		その他				
工事 38 時間		工事 46 時間			平成30~令和3年度の 平均目標	
高速中道路本線	■渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	1,191 万台・時	1,135 万台・時	739 万台・時	1,158 万台・時		1,091 万台・時
	■ピンポイント渋滞対策実施箇所(単位:箇所)					
	4 箇所	4 箇所	0 箇所	5 箇所		4 箇所
	8 箇所	平成30~令和2年度の 累積目標	8 箇所	平成30~令和3年度の 累積目標		平成30~令和3年度の 累積目標
	6 箇所		6 箇所			
	■通行止め時間(単位:時間)					
災害 7 時間	計 23 時間	災害 9 時間	計 26 時間	計 27 時間	計 26 時間	
悪天候		悪天候				
事故 3 時間		事故 2 時間				
その他		その他				
工事 12 時間		工事 15 時間			平成30~令和3年度の 平均目標	
高速西道路本線	■渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	661 万台・時	531 万台・時	262 万台・時	605 万台・時		516 万台・時
	■ピンポイント渋滞対策実施箇所(単位:箇所)					
	0 箇所	1 箇所	1 箇所	2 箇所		4 箇所
	0 箇所	平成30~令和2年度の 累積目標	1 箇所	平成30~令和3年度の 累積目標		平成30~令和3年度の 累積目標
	0 箇所		1 箇所			
	■通行止め時間(単位:時間)					
災害 8 時間	計 46 時間	災害 31 時間	計 63 時間	計 69 時間	計 56 時間	
悪天候		悪天候				
事故 2 時間		事故 2 時間				
その他		その他				
工事 36 時間		工事 58 時間			平成30~令和3年度の 平均目標	
本州四国連絡 高速道路	■渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	6 万台・時	2 万台・時	3 万台・時	4 万台・時		4 万台・時
	■ピンポイント渋滞対策実施箇所(単位:箇所)					
	- 箇所	- 箇所	- 箇所	- 箇所		- 箇所
	- 箇所	平成30~令和2年度の 累積目標	- 箇所	平成30~令和3年度の 累積目標		平成30~令和3年度の 累積目標
	- 箇所		- 箇所			
	■通行止め時間(単位:時間)					
災害 9 時間	計 10 時間	災害 6 時間	計 10 時間	計 19 時間	計 14 時間	
悪天候		悪天候				
事故 1 時間		事故 0 時間				
その他		その他				
工事 0 時間		工事 9 時間			平成30~令和3年度の 平均目標	

	令和元年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	令和3年度目標	(参考) 平成30~令和3年度の 平均値	中期目標※1 令和3年度	
高速道路(株) 首都	■渋滞損失時間(単位:万台・時)						
	2,320 万台・時	1,400 万台・時	1,510 万台・時	2,295 万台・時		1,400 万台・時	
	■ピンポイント渋滞対策実施箇所(単位:箇所)						
	0 箇所	2 箇所	0 箇所	2 箇所		2 箇所	
	4 箇所	平成30~令和2年度の 累積目標		2 箇所	平成30~令和3年度の 累積目標		
	4 箇所		4 箇所			平成30~令和3年度の 累積目標	
高速道路(株) 阪神	■渋滞損失時間(単位:万台・時)						
	906 万台・時	897 万台・時	554 万台・時	889 万台・時		910 万台・時	
	■ピンポイント渋滞対策実施箇所(単位:箇所)						
	2 箇所	2 箇所	0 箇所	2 箇所		2 箇所	
	3 箇所	平成30~令和2年度の 累積目標		1 箇所	平成30~令和3年度の 累積目標		
	2 箇所		3 箇所			平成30~令和3年度の 累積目標	
高速道路(株) 首都	■通行止め時間(単位:時間)						
	災害 悪天候 19 時間	計 5 時間	災害 悪天候 0.1 時間	計 4 時間	計 9 時間	計 6 時間 平成30~令和3年度の 平均目標	
	事故 その他 4 時間		事故 その他 1 時間				
	工事 3 時間		工事 1 時間				
	高速道路(株) 阪神	■通行止め時間(単位:時間)					
		災害 悪天候 2 時間	計 15 時間	災害 悪天候 0 時間	計 15 時間	計 16 時間	計 15 時間 平成30~令和3年度の 平均目標
事故 その他 17 時間		事故 その他 1 時間					
工事 16 時間		工事 6 時間					

②渋滞損失時間の6社合計値の過去5年推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(目標)
6社 合計値	5,503 万台・時	6,064 万台・時	5,920 万台・時	5,963 万台・時	3,545 万台・時	5,792 万台・時

渋滞損失時間の経年推移



※1 中期的なサービス水準を示すため、会社の現行中期経営計画期間内の取組計画をもとに、令和3年度までの傾向(トレンド)により算出した参考値であり、新たに会社の中期経営計画を策定する際などに見直す場合がある。
 ※10 東日本高速道路(株)・中日本高速道路(株)・西日本高速道路(株)の数値は、1/1~12/31間の年間値。
 ※11 ピンポイント渋滞対策実施箇所における令和2年度、令和3年度目標、(参考)平成30~令和3年度の累積目標及び中期目標は、新規着手箇所数について設定している。
 ※12 上下線別の通行止め時間に距離を乗じた年間のべ時間・距離を営業延長で除算したものの。

目 的		— 路上工事の渋滞を最小化する —				
本指標が達成すべき具体目標	必要となる工事が増加する中でも、路上工事による渋滞を最小化する。	各指標の定義	■路上工事による渋滞損失時間(単位:万台・時)			
			路上工事に起因する渋滞が発生したことによる利用者の年間損失時間 ^{※10※13}			
			■交通規制時間(単位:時間/km)			
上段は道路1kmあたりの路上工事に伴う交通規制時間、下段は集中工事時間を除く時間 ^{※14}						

①会社別の指標値

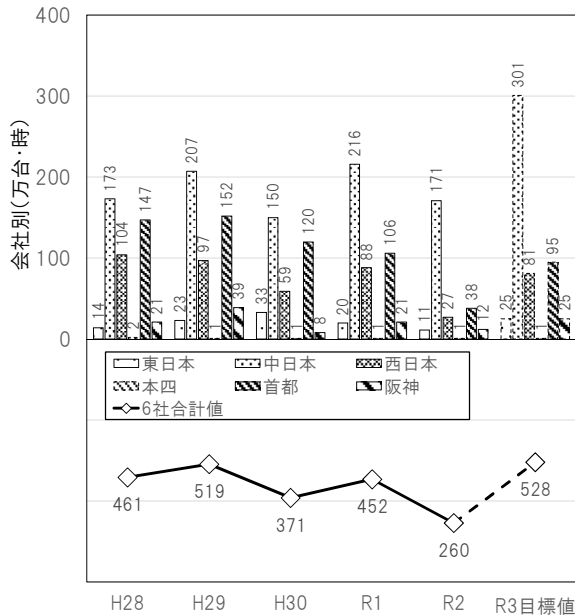
	令和元年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	令和3年度目標	(参考) 平成30~令和3年度の 平均値	中期目標 ^{※1} 平成30~令和3年度の 平均値
高速東 道日 路本 綫	■路上工事による渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	20 万台・時	18 万台・時	11 万台・時	25 万台・時	22 万台・時	23 万台・時
	■交通規制時間(単位:時間/km)					
	128 時間/km	113 時間/km	156 時間/km	167 時間/km	146 時間/km	99 時間/km
	128 時間/km		156 時間/km			
高速中 道日 路本 綫	■路上工事による渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	216 万台・時	210 万台・時	171 万台・時	301 万台・時	210 万台・時	207 万台・時
	■交通規制時間(単位:時間/km)					
	161 時間/km	152 時間/km	215 時間/km	201 時間/km	174 時間/km	102 時間/km
	128 時間/km		209 時間/km			
高速西 道日 路本 綫	■路上工事による渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	88 万台・時	81 万台・時	27 万台・時	81 万台・時	64 万台・時	88 万台・時
	■交通規制時間(単位:時間/km)					
	126 時間/km	122 時間/km	139 時間/km	127 時間/km	127 時間/km	112 時間/km
	111 時間/km		131 時間/km			
本州四 国連 絡 高 速 道 路 綫	■路上工事による渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	1 万台・時	1 万台・時	1 万台・時	1 万台・時	1 万台・時	1 万台・時
	■交通規制時間(単位:時間/km)					
	116 時間/km	116 時間/km	85 時間/km	116 時間/km	109 時間/km	126 時間/km
	116 時間/km		85 時間/km			
高速道 路綫 首 都	■路上工事による渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	106 万台・時	110 万台・時	38 万台・時	95 万台・時	90 万台・時	132 万台・時
	■交通規制時間(単位:時間/km)					
	239 時間/km	180 時間/km	223 時間/km	200 時間/km	228 時間/km	220 時間/km
	239 時間/km		223 時間/km			

	令和元年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	令和3年度目標	(参考) 平成30～令和3年度の 平均値	中期目標※1 平成30～令和3年度の 平均値
高速道路路 線(阪神)	■路上工事による渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	21 万台・時	25 万台・時	12 万台・時	25 万台・時	17 万台・時	25 万台・時
	■交通規制時間(単位:時間/km)					
	138 時間/km	145 時間/km	129 時間/km	145 時間/km	138 時間/km	145 時間/km
	126 時間/km		109 時間/km			

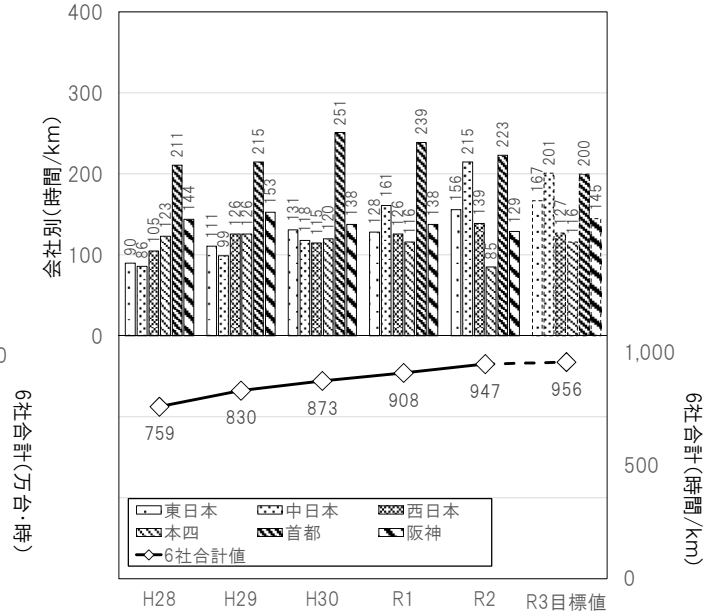
②6社合計値の過去5年推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(目標)
6社 合計値	■路上工事による渋滞損失時間(単位:万台・時)					
	461 万台・時	519 万台・時	371 万台・時	452 万台・時	260 万台・時	528 万台・時
	■交通規制時間(単位:時間/km)					
	759 時間/km	830 時間/km	873 時間/km	908 時間/km	947 時間/km	956 時間/km

路上工事による渋滞損失時間の経年推移



交通規制時間の経年推移



※1 中期的なサービス水準を示すため、会社の現行中期経営計画期間内の取組計画をもとに、令和3年度までの傾向(トレンド)により算出した参考値であり、新たに会社の中期経営計画を策定する際などに見直す場合がある。
 ※10 東日本高速道路株式会社・中日本高速道路株式会社・西日本高速道路株式会社の数値は、1/1～12/31間の年間値。
 ※13 首都高速道路株式会社・阪神高速道路株式会社については、本線渋滞損失時間に全体の渋滞量(渋滞距離と渋滞時間を乗じたもの)に対する路上工事に起因する渋滞量の割合を乗じたもの。
 ※14 集中工事を除いた路上工事時間とは、お客様が迂回や時間・日程調整など回避行動をとることができるよう区間・期間を事前に広く広報した上で行う工事を除いた路上工事時間である。

◇Ⅱ. 快適な走行サービスの提供

速報値

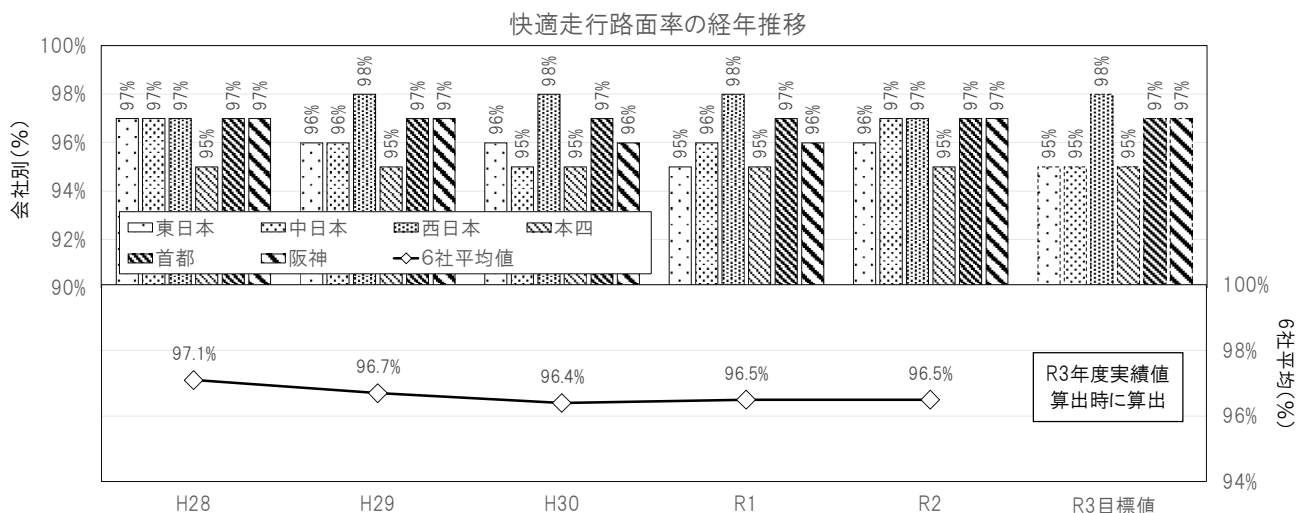
目的	－ 走りやすい道路を維持する －		
本指標が達成すべき具体目標	快適に走行できる舗装路面の水準を保つ。	各指標の定義	■快適走行路面率(単位:%) 快適に走行できる舗装路面の車線延長比率

①会社別の指標値

	■快適走行路面率(単位:%)					
	令和元年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	令和3年度目標	(参考) 平成30～令和3年度の 平均値	中期目標 ^{※1} 平成30～令和3年度の 平均値
高速東道路本線	95%	96%	96%	95%	96%	96%
高速中道路本線	96%	95%	97%	95%	96%	95%
高速西道路本線	98%	98%	97%	98%	98%	98%
高速本州四国連絡道路本線	95%	95%	95%	95%	95%	95%
高速首都圏	97%	97%	97%	97%	97%	97%
高速阪神	96%	97%	97%	97%	97%	97%

②6社平均値の過去5年推移^{※7}

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
6社平均値	97.1%	96.7%	96.4%	96.5%	96.5%



※1 中期的なサービス水準を示すため、会社の現行中期経営計画期間内の取組計画をもとに、令和3年度までの傾向(トレンド)により算出した参考値であり、新たに会社の中期経営計画を策定する際などに見直す場合がある。
 ※7 %などの比率で目標設定している一部の指標分類については、当該年度の年度目標値の6社合計値等の掲載は割愛します。

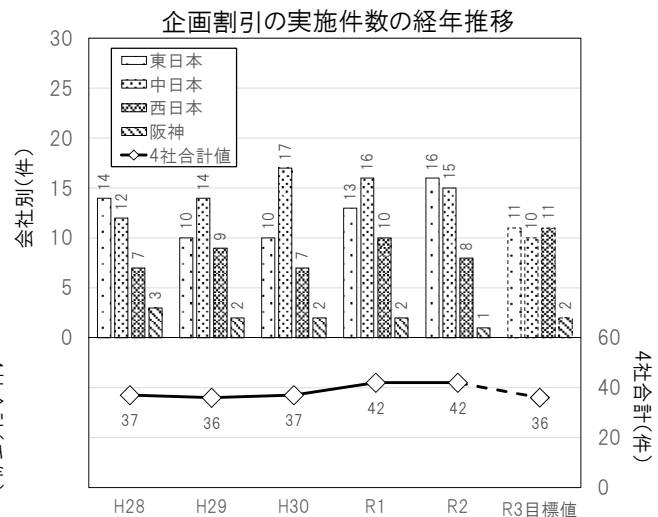
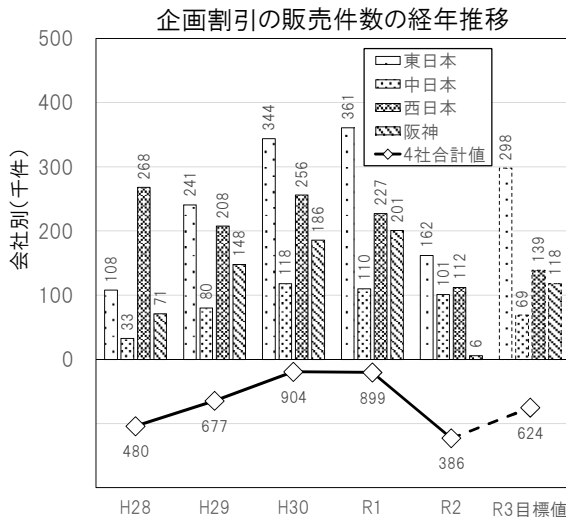
目 的	－ 観光振興に貢献する －		
本指標が達成すべき具体目標	地域振興や観光振興のため、利用者が利用しやすい企画割引等の販売・実施件数の断続的な増加を目標とする。	各指標の定義	■企画割引の販売件数(単位:千件)
			地域振興や観光振興を目的とした企画割引等の販売件数
			■企画割引の実施件数(単位:件)
			地域振興や観光振興を目的とした企画割引等の実施件数

①会社別の指標値

	令和元年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	令和3年度目標	(参考) 平成30～令和3年度の 累積値	中期目標※1 平成30～令和3年度の 累積値
高速東道路本線	■企画割引の販売件数(単位:千件)					
	361千件	211千件	162千件	298千件	1,165千件	1,071千件
高速東道路本線	■企画割引の実施件数(単位:件)					
	13件	11件	16件	11件	50件	40件
高速中道路本線	■企画割引の販売件数(単位:千件)					
	110千件	53千件	101千件	69千件	398千件	330千件
高速中道路本線	■企画割引の実施件数(単位:件)					
	16件	12件	15件	10件	58件	48件
高速西道路本線	■企画割引の販売件数(単位:千件)					
	227千件	198千件	112千件	139千件	734千件	356千件
高速西道路本線	■企画割引の実施件数(単位:件)					
	10件	8件	8件	11件	36件	27件
高速本州四国連絡道路本線	■企画割引の販売件数(単位:千件)					
	—千件	—千件	5千件	—千件	5千件	—千件
高速本州四国連絡道路本線	■企画割引の実施件数(単位:件)					
	1件	1件	2件	2件	6件	1件
高速首都圏道路本線	■企画割引の販売件数(単位:千件)					
	—千件	—千件	—千件	—千件	—千件	—千件
高速首都圏道路本線	■企画割引の実施件数(単位:件)					
	—件	—件	—件	—件	—件	—件
高速阪神道路本線	■企画割引の販売件数(単位:千件)					
	201千件	185千件	6千件	118千件	511千件	720千件
高速阪神道路本線	■企画割引の実施件数(単位:件)					
	2件	2件	1件	2件	7件	8件

②6社合計値の過去5年推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(目標)
6社合計値	■企画割引の販売件数(単位:千件)					
	480千件	677千件	904千件	899千件	386千件	624千件
6社合計値	■企画割引の実施件数(単位:件)					
	37件	36件	37件	42件	42件	36件



※1 中期的なサービス水準を示すため、会社の現行中期経営計画期間内の取組計画をもとに、令和3年度までの傾向(トレンド)により算出した参考値であり、新たに会社の中期経営計画を策定する際などに見直す場合がある。

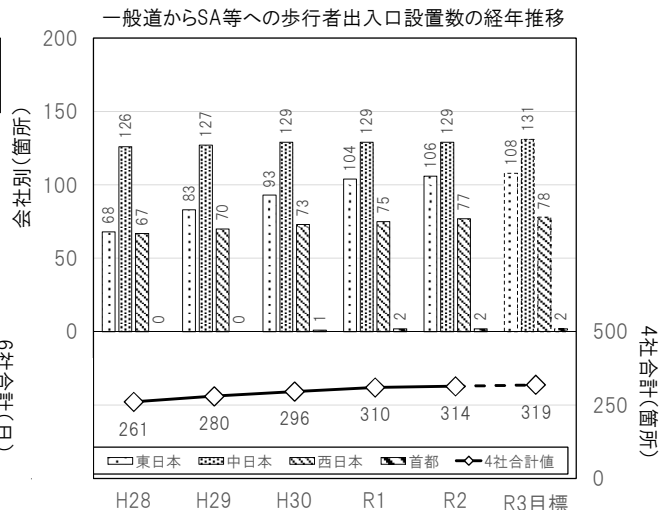
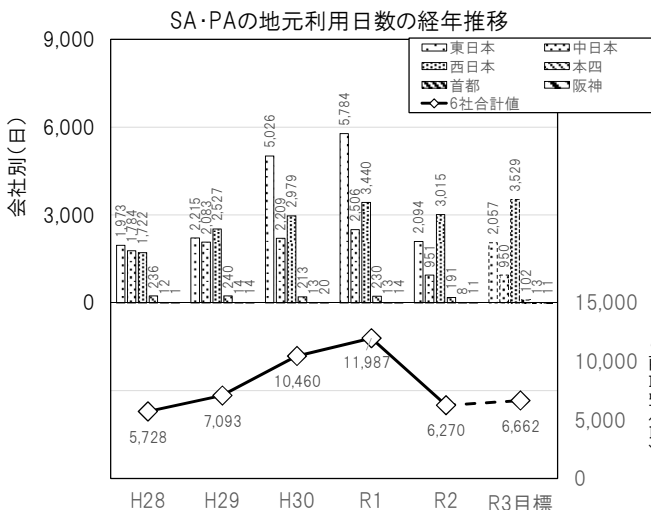
目的	— 地域に施設を開放する —		
本指標が達成すべき具体目標	地域活性化のため、SA・PAの地元利用日数の断続的な増加を目標とする。	各指標の定義	■SA・PAの地元利用日数(単位:日)
			■地元が販売・イベント等によりSA・PAを利用した日数
			■一般道からSA等への歩行者出入口設置数(単位:箇所)
			■一般道からSA等への歩行者出入口が設置されているSA等の数

①会社別の指標値

	令和元年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	令和3年度目標	(参考) 平成30~令和3年度の 累積値	中期目標※1 平成30~令和3年度の 累積値
高速東道路本線	■SA・PAの地元利用日数(単位:日)					
	5,784日	3,360日	2,094日	2,057日	14,961日	7,840日
高速中道路本線	■SA・PAの地元利用日数(単位:日)					
	2,506日	1,920日	951日	950日	6,616日	8,400日
高速西道路本線	■SA・PAの地元利用日数(単位:日)					
	3,440日	2,329日	3,015日	3,529日	12,963日	13,000日
高速本州四国連絡道路本線	■SA・PAの地元利用日数(単位:日)					
	230日	170日	191日	102日	736日	960日
高速首都圏道路本線	■SA・PAの地元利用日数(単位:日)					
	13日	13日	8日	13日	47日	52日
高速阪神道路本線	■SA・PAの地元利用日数(単位:日)					
	14日	16日	11日	11日	56日	28日
高速東道路本線	■一般道からSA等への歩行者出入口設置数(単位:箇所)					
	104箇所	108箇所	106箇所	108箇所		107箇所
高速中道路本線	■一般道からSA等への歩行者出入口設置数(単位:箇所)					
	129箇所	129箇所	129箇所	131箇所		133箇所
高速西道路本線	■一般道からSA等への歩行者出入口設置数(単位:箇所)					
	75箇所	76箇所	77箇所	78箇所		74箇所
高速本州四国連絡道路本線	■一般道からSA等への歩行者出入口設置数(単位:箇所)					
	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所		0箇所
高速首都圏道路本線	■一般道からSA等への歩行者出入口設置数(単位:箇所)					
	2箇所※6	2箇所※6	2箇所	2箇所		1箇所
高速阪神道路本線	■一般道からSA等への歩行者出入口設置数(単位:箇所)					
	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		1箇所

②6社合計値の過去5年推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(目標)
6社合計値	■SA・PAの地元利用日数(単位:日)					
	5,728日	7,093日	10,460日	11,987日	6,270日	6,662日
6社合計値	■一般道からSA等への歩行者出入口設置数(単位:箇所)					
	261箇所	280箇所	296箇所	310箇所	314箇所	319箇所



※1 中期的なサービス水準を示すため、会社の現行中期経営計画期間内の取組計画をもとに、令和3年度までの傾向(トレンド)により算出した参考値であり、新たに会社の中期経営計画を策定する際などに見直す場合がある。
 ※6 精査の結果、過年度実績値に誤りが見られたため訂正。

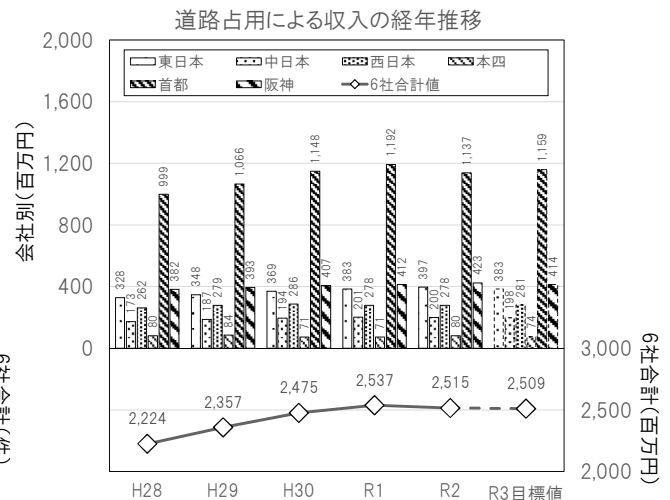
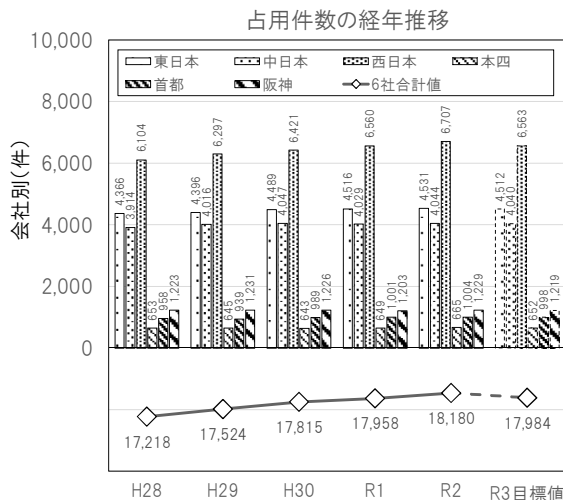
目的	— 道路空間を地域に開放する —		
本指標が達成すべき具体目標	道路空間の有効活用の一環として、道路占用件数の断続的な増加を目標とする。	各指標の定義	■ 占用件数(単位:件) ^{※15}
			道路占用件数
			■ 道路占用による収入(単位:百万円) ^{※16}
			道路占用による収入

①会社別の指標値

	令和元年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	令和3年度目標	(参考)平成30~令和3年度の平均値	中期目標 ^{※1} 平成30~令和3年度の平均値
高速東道路本線	■ 占用件数(単位:件)					
	4,516 件	4,470 件	4,531 件	4,512 件	4,512 件	4,362 件
	■ 道路占用による収入(単位:百万円)					
	383 百万円	370 百万円	397 百万円	383 百万円	383 百万円	334 百万円
高速中道路本線	■ 占用件数(単位:件)					
	4,029 件	4,030 件	4,044 件	4,040 件	4,040 件	3,920 件
	■ 道路占用による収入(単位:百万円)					
	201 百万円	190 百万円	200 百万円	198 百万円	198 百万円	180 百万円
高速西道路本線	■ 占用件数(単位:件)					
	6,560 件	6,426 件	6,707 件	6,563 件	6,563 件	6,125 件
	■ 道路占用による収入(単位:百万円)					
	278 百万円	281 百万円	278 百万円	281 百万円	281 百万円	266 百万円
高速本州四国道路本線	■ 占用件数(単位:件)					
	649 件	649 件	665 件	652 件	652 件	648 件
	■ 道路占用による収入(単位:百万円)					
	71 百万円	81 百万円	80 百万円	74 百万円	74 百万円	81 百万円
高速首都圏道路本線	■ 占用件数(単位:件)					
	1,001 件	980 件	1,004 件	998 件	998 件	950 件
	■ 道路占用による収入(単位:百万円)					
	1,192 百万円	1,140 百万円	1,137 百万円	1,159 百万円	1,159 百万円	1,020 百万円
高速阪神道路本線	■ 占用件数(単位:件)					
	1,203 件	1,220 件	1,229 件	1,219 件	1,219 件	1,226 件
	■ 道路占用による収入(単位:百万円)					
	412 百万円	404 百万円	423 百万円	414 百万円	414 百万円	384 百万円

②6社合計値の過去5年推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(目標)
6社合計値	■ 占用件数(単位:件)					
	17,218 件	17,524 件	17,815 件	17,958 件	18,180 件	17,984 件
	■ 道路占用による収入(単位:百万円)					
	2,224 百万円	2,357 百万円	2,475 百万円	2,537 百万円	2,515 百万円	2,509 百万円



※1 中期的なサービス水準を示すため、会社の現行中期経営計画期間内の取組計画をもとに、令和3年度までの傾向(トレンド)により算出した参考値であり、新たに会社の中期経営計画を策定する際などに見直す場合がある。
 ※15 数値は占用ニーズに影響を受けるため、令和3年度目標及び中期目標は過去3年間の平均としている。
 ※16 道路占用に係る令和2年度実績値及び令和3年度目標値は、高速道路機構が算出及び設定している。

目的	— 資産を有効活用する —		
本指標が達成すべき具体目標	道路空間の有効活用の一環として、入札占用件数の断続的な増加を目標とする。	各指標の定義	■入札占用件数(単位:件) ^{※16} 入札占用制度による占用件数

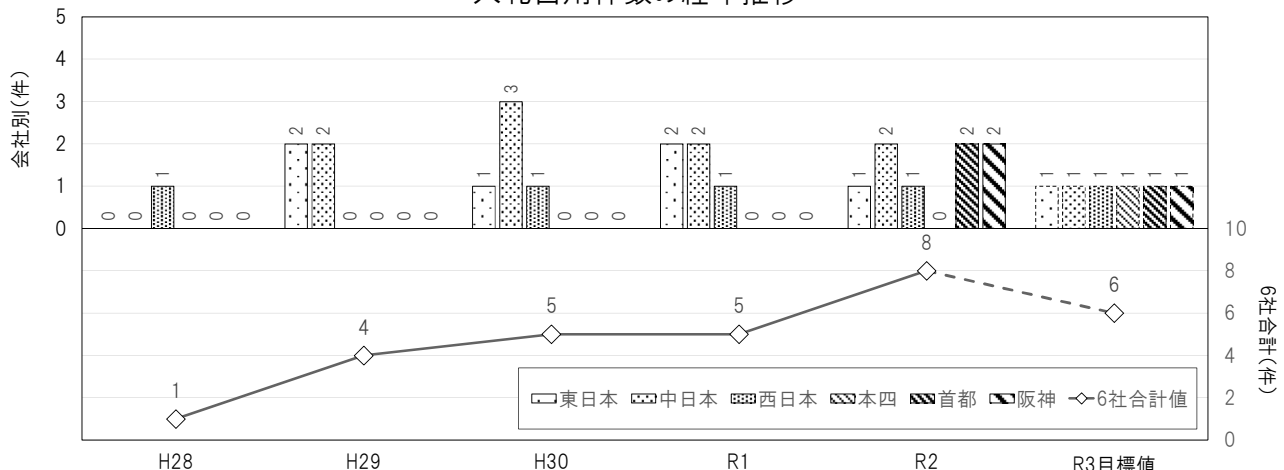
①会社別の指標値

	■入札占用件数(単位:件)					
	令和元年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	令和3年度目標	(参考)平成30~令和3年度の累積値	中期目標 ^{※1} 平成30~令和3年度の累積値
高速東道路本線	2件	1件	1件	1件	5件	4件
高速中道路本線	2件	1件	2件	1件	8件	4件
高速西道路本線	1件	1件	1件	1件	4件	4件
本州四国連絡高速道路	0件	1件	0件	1件	1件	4件
高速首都	0件	1件	2件	1件	3件	4件
高速阪神	0件	1件	2件	1件	3件	4件

②6社合計値の過去5年推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(目標)
6社合計値	1件	4件	5件	5件	8件	6件

入札占用件数の経年推移



※1 中期的なサービス水準を示すため、会社の現行中期経営計画期間内の取組計画をもとに、令和3年度までの傾向(トレンド)により算出した参考値であり、新たに会社の中期経営計画を策定する際などに見直す場合がある。
 ※16 道路占用に係る令和2年度実績値及び令和3年度目標値は、高速道路機構が算出及び設定している。

目 的	－ 新技術の活用などによるコスト縮減を続ける －		
本指標が達成すべき具体目標	新設改築・更新・修繕等でのインセンティブ助成 ^{※17} を活用し、コスト縮減を行う。	各指標の定義	■インセンティブ助成の認定件数(単位:件)
			当該年度に助成委員会 ^{※18} にて認定した件数
			■インセンティブ助成の交付件数(単位:件)
			当該年度に助成交付した件数
			■インセンティブ助成の交付額(単位:百万円)
			当該年度に助成交付した額 ^{※19}

①会社別の指標値

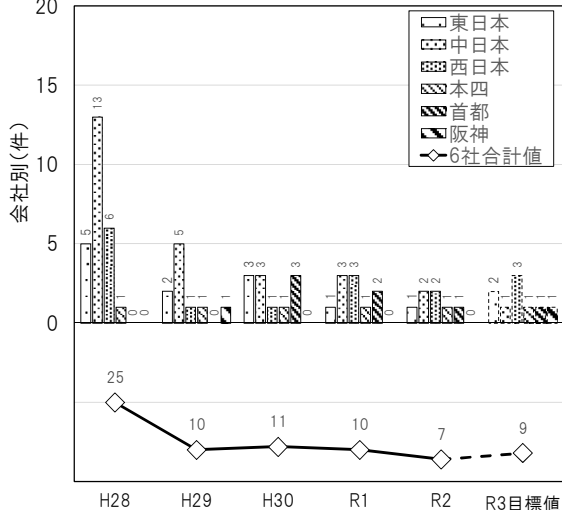
	令和元年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	令和3年度目標	(参考) 平成30～令和3年度の 累積値	中期目標 ^{※1} 平成30～令和3年度の 累積値
東日本 高速道路(株)	■インセンティブ助成の認定件数(単位:件)					
	1 件	6 件	1 件	2 件	7 件	24 件
	■インセンティブ助成の交付件数(単位:件)					
	0 件		2 件			
	■インセンティブ助成の交付額(単位:百万円)					
0 百万円		99 百万円				
中日本 高速道路(株)	■インセンティブ助成の認定件数(単位:件)					
	3 件	1 件	2 件	1 件	9 件	4 件
	■インセンティブ助成の交付件数(単位:件)					
	4 件		3 件			
	■インセンティブ助成の交付額(単位:百万円)					
117 百万円		18 百万円				
西日本 高速道路(株)	■インセンティブ助成の認定件数(単位:件)					
	3 件	3 件	2 件	3 件	9 件	12 件
	■インセンティブ助成の交付件数(単位:件)					
	1 件		5 件			
	■インセンティブ助成の交付額(単位:百万円)					
4 百万円		115 百万円				
本州四国 高速道路(株)	■インセンティブ助成の認定件数(単位:件)					
	1 件	1 件	1 件	1 件	4 件	4 件
	■インセンティブ助成の交付件数(単位:件)					
	3 件		1 件			
	■インセンティブ助成の交付額(単位:百万円)					
118 百万円		88 百万円				

	令和元年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	令和3年度目標	(参考) 平成30～令和3年度の 累積値	中期目標※1 平成30～令和3年度の 累積値
首都 高速道路 ㈱	■インセンティブ助成の認定件数(単位:件)					
	2件	1件	1件	1件	7件	6件
	■インセンティブ助成の交付件数(単位:件)					
	2件		0件			
	■インセンティブ助成の交付額(単位:百万円)					
	5百万円		0百万円			
阪神 高速道路 ㈱	■インセンティブ助成の認定件数(単位:件)					
	0件	1件	0件	1件	1件	4件
	■インセンティブ助成の交付件数(単位:件)					
	0件		0件			
	■インセンティブ助成の交付額(単位:百万円)					
	0百万円		0百万円			

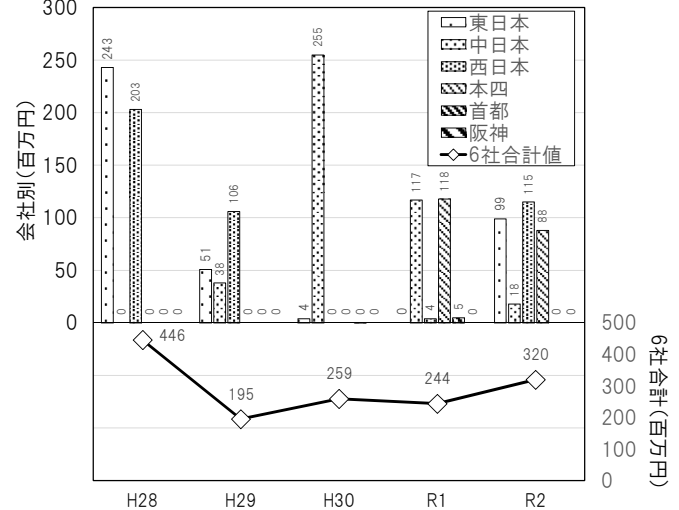
②6社合計値の過去5年推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(目標)
6社 合計値	■インセンティブ助成の交付件数(単位:件)					
	25件	10件	11件	10件	7件	9件
	■インセンティブ助成の交付件数(単位:件)					
	14件	7件	11件	10件	11件	
	■インセンティブ助成の交付額(単位:百万円)					
446百万円	195百万円	259百万円	244百万円	320百万円		

インセンティブ助成の認定件数の経年推移



インセンティブ助成の交付額の経年推移



※1 中期的なサービス水準を示すため、会社の現行中期経営計画期間内の取組計画をもとに、令和3年度までの傾向(トレンド)により算出した参考値であり、新たに会社の中期経営計画を策定する際に見直す場合がある。
 ※17 インセンティブ助成とは、高速道路の新設、改築、修繕その他の管理に要する費用の縮減を助成するための仕組みをいう。
 ※18 助成委員会とは、「高速道路の新設等に要する費用の縮減に係る助成に関する委員会」のことをいう。
 ※19 表記上、小数第一位にて四捨五入しているが、0.5百万円未満の場合は、小数第二位にて四捨五入を行っている。

◇ V.総合的な取組の推進

速報値

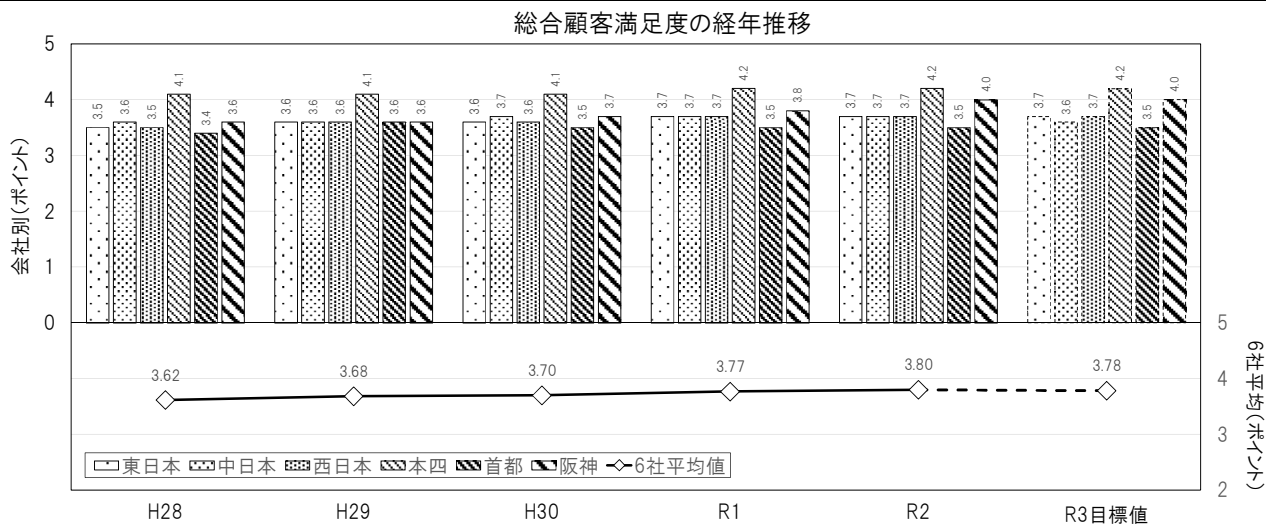
目的	－ サービスの向上に努める －		
本指標が達成すべき具体目標	総合顧客満足度の向上を図り続ける。	各指標の定義	■総合顧客満足度(単位:ポイント)
			CS調査等で把握するお客様の満足度[5段階評価]

①会社別の指標値

	■総合顧客満足度(単位:ポイント)				
	令和元年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	令和3年度目標	中期目標※1 令和3年度
高速東 道路本 線	3.7 ポイント	3.6 ポイント	3.7 ポイント	3.7 ポイント	3.6 ポイント
高速中 道路本 線	3.7 ポイント	3.6 ポイント	3.7 ポイント	3.6 ポイント	3.6 ポイント
高速西 道路本 線	3.7 ポイント	3.7 ポイント	3.7 ポイント	3.7 ポイント	3.6 ポイント
高速本 州四国 道路本 線	4.2 ポイント	4.2 ポイント	4.2 ポイント	4.2 ポイント	4.1 ポイント
高速首 都	3.5 ポイント	3.5 ポイント	3.5 ポイント	3.5 ポイント	3.5 ポイント
高速阪 神	3.8 ポイント	3.8 ポイント	4.0 ポイント	4.0 ポイント	3.9 ポイント

②6社平均値の過去5年推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(目標)
6社 平均値	3.62 ポイント	3.68 ポイント	3.70 ポイント	3.77 ポイント	3.80 ポイント	3.78 ポイント



※1 中期的なサービス水準を示すため、会社の現行中期経営計画期間内の取組計画をもとに、令和3年度までの傾向(トレンド)により算出した参考値であり、新たに会社の中期経営計画を策定する際などに見直す場合がある。

◇V.総合的な取組の推進

速報値

目的	－ 利用者を増やす －		
本指標が達成すべき具体目標	高速道路利用者の断続的な増加を目標とする。	各指標の定義	■年間利用台数(単位:百万台)
			支払料金所における年間の通行台数※20

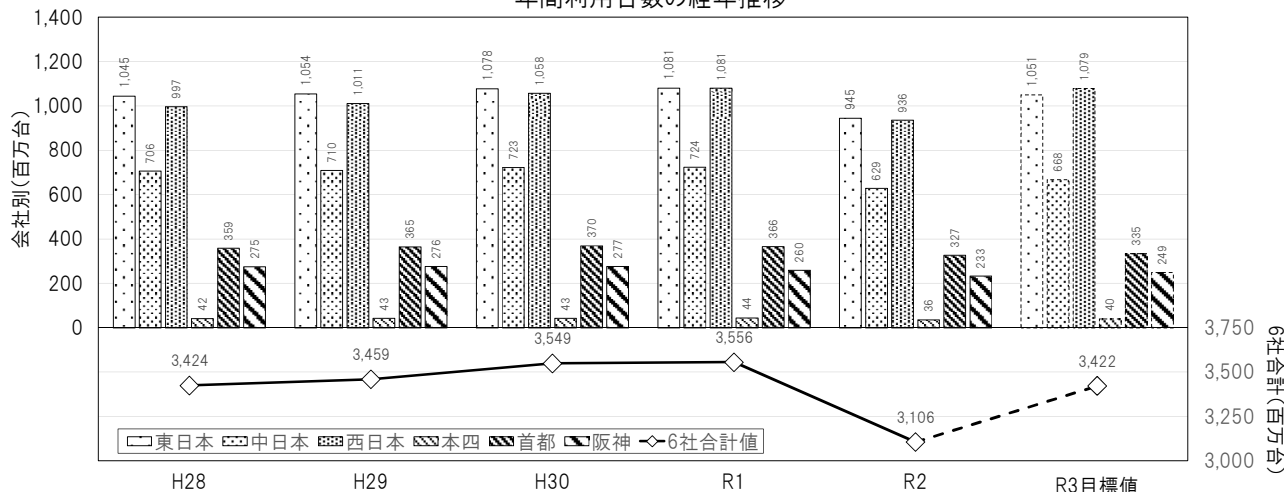
①会社別の指標値

	■年間利用台数(単位:百万台)				
	令和元年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	令和3年度目標	中期目標※1 令和3年度
高速東道路本線	1,081 百万台	1,006 百万台	945 百万台	1,051 百万台	1,086 百万台
高速中道路本線	724 百万台	662 百万台	629 百万台	668 百万台	715 百万台
高速西道路本線	1,081 百万台	1,014 百万台	936 百万台	1,079 百万台	1,079 百万台
本州四国連絡 高速道路本線	44 百万台	40 百万台	36 百万台	40 百万台	44 百万台
高速首都 道路本線	366 百万台	308 百万台	327 百万台	335 百万台	394 百万台
高速阪神 道路本線	260 百万台	246 百万台	233 百万台	249 百万台	274 百万台

②6社合計の過去5年推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(目標)
6社合計値	3,424 百万台	3,459 百万台	3,549 百万台	3,556 百万台	3,106 百万台	3,422 百万台

年間利用台数の経年推移



※1 中期的なサービス水準を示すため、会社の現行中期経営計画期間内の取組計画をもとに、令和3年度までの傾向(トレンド)により算出した参考値であり、新たに会社の中期経営計画を策定する際などに見直す場合がある。
 ※20 首都高速道路(株)・阪神高速道路(株)は支払料金所を複数回通過した場合でも「1台」として集計。

◇V.総合的な取組の推進

速報値

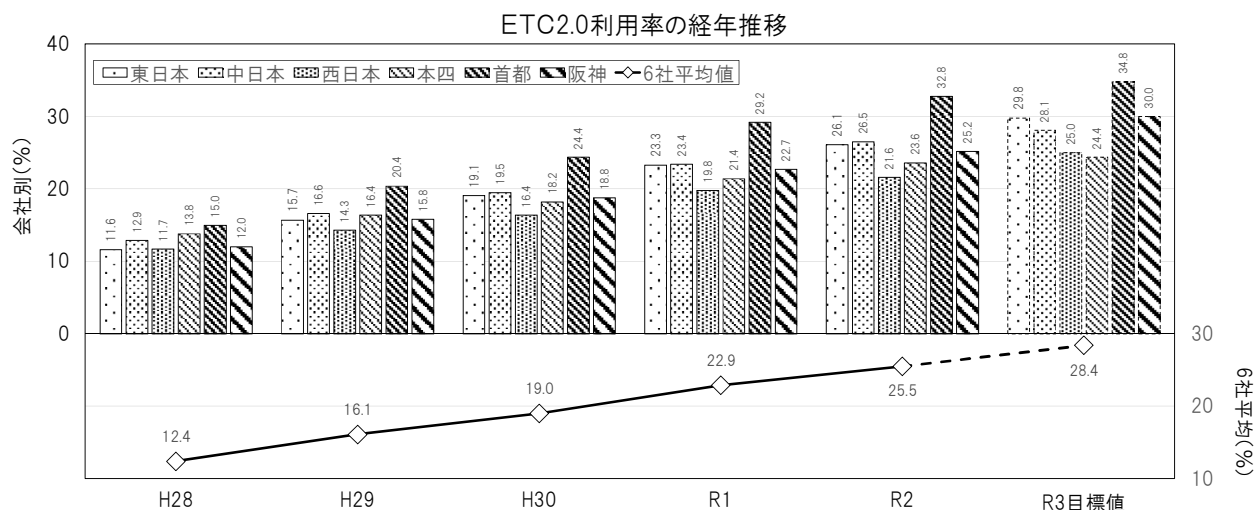
目的	— ETC2.0の普及を促進する —		
本指標が達成すべき具体目標	ETC2.0利用率の断続的な増加を目標とする。	各指標の定義	■ETC2.0利用率(単位:%)
			全通行台数(総入口交通量)に占めるETC2.0利用台数の割合

①会社別の指標値

	■ETC2.0利用率(単位:%)				
	令和元年度実績	令和2年度目標	令和2年度実績	令和3年度目標	中期目標※1 令和3年度
高速東道路本線	23.3 %	25.9 %	26.1 %	29.8 %	29.4 %
高速中道路本線	23.4 %	25.2 %	26.5 %	28.1 %	28.1 %
高速西道路本線	19.8 %	22.5 %	21.6 %	25.0 %	25.0 %
高速本州四国連絡	21.4 %	22.9 %	23.6 %	24.4 %	24.4 %
高速首都	29.2 %	32.5 %	32.8 %	34.8 %	33.2 %
高速阪神	22.7 %	26.4 %	25.2 %	30.0 %	30.0 %

②6社平均値の過去5年推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(目標)
6社平均値	12.4 %	16.1 %	19.0 %	22.9 %	25.5 %	28.4 %



※1 中期的なサービス水準を示すため、会社の現行中期経営計画期間内の取組計画をもとに、令和3年度までの傾向(トレンド)により算出した参考値であり、新たに会社の中期経営計画を策定する際などに見直す場合がある。

●道路保全に係る以下の指標の実績値については、データ取得等の制約により「算出中」として
いるが、今後順次公表予定

- 修繕着手済数(橋梁・トンネル・道路附属物等)
- 点検率(橋梁・トンネル・道路附属物等)
- 橋梁の耐震補強完了率

◆主要8指標における令和2年度実績値・令和3年度目標値の一覧

(I) 安全・安心の確保に関する指標

(I) 安全・安心の確保							
指標分類		東日本	中日本	西日本	本四	首都	阪神
■ 死傷事故率 [単位：件/億台キロ] 自動車走行車両1億台キロあたりの死傷事故件数	令和元年度実績	3.7件/億台キロ	5.2件/億台キロ	4.6件/億台キロ	4.0件/億台キロ	9.3件/億台キロ	16.6件/億台キロ
	令和2年度実績	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*
	令和3年度目標	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*
	中期目標 (令和3年度)	4.5件/億台キロ	4.7件/億台キロ	6.8件/億台キロ	5.2件/億台キロ	10.0件/億台キロ	15.0件/億台キロ
■ 逆走事故件数 [単位：件] 逆走による年間事故発生件数	令和元年度実績	8件	8件	13件	4件	0件	2件
	令和2年度実績	6件	4件	9件	0件	1件	0件
	令和3年度目標	6件	6件	7件	0件	0件	0件
	中期目標 (令和3年度)	6件	6件	7件	0件	0件	0件
■ 修繕着手済橋梁数 (点検1巡目のみ) [単位：橋、径間(首都・阪神)] (上段)⇒平成26年度から平成30年度までに判定区分Ⅲ、Ⅳと診断された橋梁のうち、当該年度までに修繕(設計を含む)に着手した橋梁数 (下段)⇒要修繕橋梁数(平成26年度から平成30年度までに点検し、判定区分Ⅲ、Ⅳと診断された橋梁数)	令和元年度実績	399橋 707橋	380橋 767橋	346橋 945橋	10橋 10橋	579橋 590橋	187橋 305橋
	令和2年度実績	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*
	令和3年度目標	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*
	中期目標 (令和3年度)	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*
■ 修繕着手済トンネル数 (点検1巡目のみ) [単位：箇所] (上段)⇒平成26年度から平成30年度までに判定区分Ⅲ、Ⅳと診断されたトンネルのうち、当該年度までに修繕(設計を含む)に着手したトンネル数 (下段)⇒要修繕トンネル数(平成26年度から平成30年度までに点検し、判定区分Ⅲ、Ⅳと診断されたトンネル数)	令和元年度実績	171箇所 200箇所	67箇所 93箇所	325箇所 397箇所	0箇所 0箇所	6箇所 6箇所	0箇所 0箇所
	令和2年度実績	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*
	令和3年度目標	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*
	中期目標 (令和3年度)	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*
■ 修繕着手済道路附属物等数 (点検1巡目のみ) [単位：施設] (上段)⇒平成26年度から平成30年度までに判定区分Ⅲ、Ⅳと診断された道路附属物等数のうち、当該年度までに修繕(設計を含む)に着手した道路附属物等数 (下段)⇒要修繕道路附属物等数(平成26年度から平成30年度までに点検し、判定区分Ⅲ、Ⅳと診断された道路附属物等数)	令和元年度実績	107施設 135施設	51施設 91施設	139施設 168施設	3施設 3施設	11施設 12施設	8施設 43施設
	令和2年度実績	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*
	令和3年度目標	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*
	中期目標 (平成30～令和3年度の平均値)	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*	算出中*

(II) 快適なサービスの提供に関する指標

(II) 快適なサービスの提供							
指標分類		東日本	中日本	西日本	本四	首都	阪神
■ 渋滞損失時間 [単位：万台・時] 渋滞が発生することによる利用者の年間損失時間	令和元年度実績	879万台・時	1,191万台・時	661万台・時	6万台・時	2,320万台・時	906万台・時
	令和2年度実績	477万台・時	739万台・時	262万台・時	3万台・時	1,510万台・時	554万台・時
	令和3年度目標	841万台・時	1,158万台・時	605万台・時	4万台・時	2,295万台・時	889万台・時
	中期目標 (令和3年度)	555万台・時	1,091万台・時	516万台・時	4万台・時	1,400万台・時	910万台・時
■ 路上工事による渋滞損失時間 [単位：万台・時] 路上工事に起因する渋滞が発生したことによる利用者の年間損失時間	令和元年度実績	20万台・時	216万台・時	88万台・時	1万台・時	106万台・時	21万台・時
	令和2年度実績	11万台・時	171万台・時	27万台・時	1万台・時	38万台・時	12万台・時
	令和3年度目標	25万台・時	301万台・時	81万台・時	1万台・時	95万台・時	25万台・時
	中期目標 (平成30～令和3年度の平均値)	23万台・時	207万台・時	88万台・時	1万台・時	132万台・時	25万台・時
■ 快適走行路面率 [単位：%] 快適に走行できる舗装路面の車線延長比率	令和元年度実績	95%	96%	98%	95%	97%	96%
	令和2年度実績	96%	97%	97%	95%	97%	97%
	令和3年度目標	95%	95%	98%	95%	97%	97%
	中期目標 (平成30～令和3年度の平均値)	96%	96%	98%	95%	97%	97%

*指標「死傷事故率」と「各構造物の修繕着手済数」の令和2年度実績値及び令和3年度目標値については、データ取得等の制約により「算出中」としているが、今後順次公表予定